



0552

支那派經  
連軍總部  
司令由  
昭和拾七年九月廿四日  
總副報第一九七號

第十軍司令部  
由  
藤六副乙第一三七號

第十軍司令部  
昭和七年九月廿四日  
由  
第三三號

特別報告提出ニ関スル件報告

昭和拾七年九月廿日

第三十九師團長澄田昧四郎

陸軍大臣 東條英機殿

陸軍報告規程第七條ニ據ル首題ノ件別紙ノ通  
提出ス

陸軍大臣  
17.10.10  
計

陸軍大臣  
17.10.8  
恩賞

陸軍省  
17.10.5  
兵務課

陸軍省  
17.10.7  
防衛課

陸軍省  
17.10.11  
補任課

陸軍省  
17.9.30  
後年

陸軍省  
17.11

敘位  
欽勳

陸軍省  
17.10.11

歩兵第百三十二聯隊

現役 昭和十二年徵集 陸軍上算兵

同 同

同 同

同 同

一、發生年月日時

昭和十七年八月十九日 自 一一三〇 至 二〇〇〇 間

二、違反事項ノ概要

前記 [redacted] 上算兵(内地歸還内祝ノ意味ヲ以テ八月十九日

十九時三十分頃ヨリ前記 [redacted] 兩名ノ外同年兵數名

ト共ニ歩兵第百三十二聯隊下士官候補者教育隊

指揮班室ニ於テ會飲セリ二十時三十分頃 [ ] 上等兵ハ陸軍伍長前峠信義ノ臨席ヲ求メントシテ下士官室ニ訪ヒシ處同官不在ニシテ陸軍伍長山根篤ノ病臥シアルヲ認メタリ然ルニ [ ] 上等兵ハ嘗テ同伍長ヨリ私的制裁ニ関シ叱責ヲ受ケ爾來憤懣ヲ懷キアリシ所偶々同伍長ノ態度ニ層々憎惡ヲ感ジ侮辱的言辭ヲ弄シテ立去リ更ニ [ ] 上等兵ト共ニ下士官室ニ引返シ侮辱的言辭ヨリ同伍長ノ室外連行ヲ強要シ次デ [ ] 上等兵ノ連絡ニヨリ大下上等兵來會ス

[ ] 上等兵ハ山根伍長ニ對シ侮辱的言辭ヲ弄シ毆打スルコト三、四回 [ ] 上等兵ハ山根伍長ノ腰ニ手ヲ當テアル態

度ヲ結リ自己ノ手ヲ以テ同伍長ノ手ヲ腰ヨリ下サシメ  
 上算兵ハ猶

離脱シテ之ヲ傍觀セリ

要スルニ前記三名ハ協同シテ山根伍長ニ對シ上官暴行及侮辱ヲセルモノナリ  
 三、原因及動機

■上算兵ハ昭和十七年十月十三日ヨリ三日間ノ討伐ニ於テ自己ノ保管  
 セル加戸曹長ノ飯盒不良程度ナルモノト交替セシメタルヲ以テ前記山  
 根伍長ノ分隊ノ兵ノ行爲ト認メ同伍長ニ申出ズルコトナク直接分隊  
 ノ兵ヲ取調ベタルモ判明セズ

其ノ際 ■上算兵ハ分隊ノ兵ヲ毆打シテ私的制裁ヲ加フ山根伍長  
 之ヲ知り同上算兵ヲ招致其ノ處置ノ不當ニ就キ戒飭ヲ加ヘタリ

然レニ ■上算兵ハ四年兵ニシテ山根伍長ハ三年兵ナルヲ以テ三年兵ガ四  
 年兵ニ對シト云フ階級ヲ無視セル誤リタル觀念ヨリ爾來反感ヲ有シ内ハ

密ニ其ノ憤懣ヲ慰セント期シアリタルモヤリ

及 兩上等兵六 上等兵共ニ豫テ番回ス所アリシ折柄當日ハ飲  
酒度ヲ過シ其ノ餘勢ヲヨリ 上等兵憤慨ニ共鳴シ共ニ侮辱或ハ  
暴行ヲ敢テスルニ至リタルモノナリ

#### 四處 置

違反者三名ヲ部隊個室ニ夫々銅シ捜査ニ着手シ且下續行中ナリ  
最近犯罪者ノ激增ニ鑑ミ軍紀風紀ノ振作緊縮ニ付各部隊ノ指導  
ニ萬全ヲ期シアリシ處再ビ斯ルノ詳事ヲ發生シ恐懼ニ堪ヘズ各級幹  
部特ニ中隊長以下ノ下士官兵ニ對シテ個性指導ヲ適切ナラシムル  
ト共ニ軍紀犯ノ重大性ヲ認識セシメ特ニ非違行為ニ對シテハ其ノ  
初動ヲ制スル如ク指導ヲ加フ

五、責任者ノ処分

本件ノ發生ハ其ノ基因スル所平素幹部ノ部下監督  
指導并ニ十分ナルモノニシテ夫々左ノ如ク処分ス

聯隊長ノ処分

重謹慎七日 下士官候補者教育隊長 陸軍少尉 岡 淑郎

重謹慎五日 第五中隊長 陸軍中尉 高原 博

同 第十一中隊長 同 近藤一男

重謹慎三日 第十二中隊長 同 田中武夫

歩兵團長ノ処分

重謹慎一日 聯隊長 陸軍大佐 堀 静一

六、其他必要ナル事項

西上算兵六  
 上算兵ト共ニ指揮班内ニ  
 起居シ且同年兵ナル多ク交リ深ク  
 上算兵ノ山根伍  
 長ニ對スル心情ニ同情シ同官ニ對シ好意ヲ有シア  
 ラズ且前者同様ノ觀念ニ基キ共ニ機ヲ見テ憤懣  
 シ露ヲサンコトヲ期シアリシモノナリ